

チャペル週報

No.24

2015.11.30 ~ 12.4

琴を奏でて主に感謝をささげ、
十弦の琴を奏でてほめ歌をうたえ。

(詩編 33編 2節)



山川記念館

関西学院宗教センター

アドベント

東 よしみ

今年は、11月29日の日曜日からアドベントに入ります。皆さんはアドベントと聞いて何を連想しますか。アドベントはクリスマスを待つ季節ですが、皆さんは何を待っていますか。

クリスマスは、イエス・キリストの誕生を祝います。イエスはマリアという女性によってこの世に生まれました。一人の人間マリアが神の子を産むということは、よくよく考えてみますと驚くべきことがらです。人が神の子を産む。何と大きな役割を人間が果たすのでしょうか。

中世ドイツのマイスター・エックハルトという神学者は、人間が神と出会い、自らを新しい存在として産み出すことを指して、「神の子を産む」と表現します。出産は、新約聖書の中でも、人間が新しい存在として生まれることを指して使われています。ヨハネ福音書において、神の子らは、肉の欲、あるいは人間の欲によってではなく神によって生まれた（1章13節）と言われます。また、有名なニコデモとの対話においては、人は新しく生まれなければ神の国を見ることはできない（3章3節）と言われます。

神と出会い、新しい存在とされることを表すのに、出産というイメージは適切なものです。子を産むためには、待つことが必要があります。新しい存在が生まれる時は、痛みを伴います。同じように、「神の子を産む」ためには、待つという期間が必要で、古い存在が死んで新しい存在となる時には痛みを伴います。いつその時がくるのか、人は前もって正確に述べることはできません。

クリスマスを待ち望むアドベントの時期は、神との出会い、神の子の誕生を待ち望む季節です。クリスマスは、冬至の時期です。夜の闇が、ますます冷たく、深くなっていくアドベントの時期こそ、神との出会い、神の子の誕生を待つのにふさわしい時期です。人は、暗闇の中に身をおいてこそ、自らの内奥に自らを超越して存在する神と出会うことができる。暗闇の中でこそ人は輝く光を見ることができ、新しく生まれること、「神の子を産む」ことができる。年末に向けて慌ただしくなるこの時期ですが、心をしずめて、超越者との出会いを待ち望みたいと思います。

(神学部助教)

☆チャペル・スケジュール☆

時間 10:35～11:05 場所 各学部チャペル

- 11月30日(月) 神 今井圭介(神学研究科M1)
経 「難民映画祭を終えて」舟木 謙(宗教主事)
人 アドベントを覚えて 嶺重 淑(宗教主事)
聖 聖書物語 ゲッセマネ、大祭司の屋敷で
理 関西学院ハンドベルクワイア(上ヶ原)
-
- 12月1日(火) 神 English chapel ; Theology in dialogue class
文 音楽チャペル 聖歌隊
社 チャペル・コンサート ハーモニカソサイアティ
法 「気づく力」木村 仁(法学部教授)
経 「人間を考える⑦」白井 洸志(経済学部専任講師)
商 寺田 ともか(人間福祉学部4年)
国 Timothy Dale Boyle(宣教師)
聖 田淵 結(教育学部宗教主事)
理 島田 澤大奈(理工学研究科M2)
総 村上 芳夫(総合政策学部教授)
-
- 12月2日(水) 神 シリーズチャペル 私にとっての世界市民とは 水野 隆一(神学部教授)
法 威脅與抑止 Kennis Lam宣教師(岡本教会・中国語)
経 English Music Chapel Timothy Dale Boyle (Missionary)
商 山本 俊正(宗教主事)
人 嶺重 淑(宗教主事)
国 Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主事・神学部准教授)
聖 田淵 結(教育学部宗教主事)
理 LGBTチャペル
総 関西学院ハンドベルクワイア
-
- 12月3日(木) 神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝
文 Andreas Rusterholz(宗教主事)
社 愛するということ① 安藤 文四郎(社会学部教授)
法 「釘の十字架」Christian Morimoto Hermansen(宣教師)
経 「人間を考える⑧」原田 哲史(経済学部教授)
商 山本 俊正(宗教主事)
国 English Chapel Eun Ja Lee (Missionary)
聖 パーバーショップハーモニーとクリスマス グリークラブ&広瀬 康夫
総 Salus Aqua
-
- 12月4日(金) 院 水戸 考道(法学部教授)
神 Ruth M. Grubel(院長)
文 English Chapel Andreas Rusterholz(Chaplain)
経 「人間を考える⑨(最終回)」森田 由利子(経済学部教授)
人 音楽チャペル バロックアンサンブル
聖 聖和短期大学での学びを生かして、今 西口 深月(人間福祉学部4年)
理 鈴木 淳之介(日本聖書協会・青山パイプハウス)
-
- ◇ランバス早天祈祷会 毎金曜日 8:20～8:40 ランバス記念礼拝堂(上ヶ原)
12月4日(金) 千刈キャンブ60周年を覚えて 小谷 正登(千刈キャンブ副所長)
-

●冬の献血週間のお知らせ

学生会宗教総部では、冬の献血週間を実施します。提供していただく血液は、兵庫県赤十字血液センターでの検査を経て医療現場に届けられます。皆様のご協力をお願いします。

期 間：11月30日(月)～12月4日(金)

受付場所：吉岡記念館ラウンジ

主 催：宗教総部献血実行委員会

●大阪梅田キャンパスチャペル

阪急梅田駅から徒歩すぐ、アプローズタワー14階の大阪梅田キャンパスでは、大学院授業期間中の毎週木曜日にチャペルアワーを開催しています。(17:50～18:20 1405教室)

12月主題：「クリスマスの喜び」

12月3日(木) Jeffrey Mensendiek(宗教センター宗教主宰)

12月10日(木) 舟木 譲(大学宗教主宰)

12月17日(木) Timothy Dale Boyle(宣教師)

●第202回ランバス演奏会のご案内

ソプラノとリユートによる「古き良き英国のキャロル集」

出 演：平井満美子(ソプラノ) 佐野健二(リユート)

演 目：ウェックスフォード・キャロル、クリスマス讃えて、クリスマスイヴ ほか

と き：12月3日(木) 17:00開演 18:10終演予定

ところ：ランバス記念礼拝堂(上ケ原)

主 催：関西学院宗教センター(入場無料)

●オルガン音楽の泉 2015 Fall Semester

パイプオルガンの響きに憩うお昼のひととき、どなたでもご自由にお楽しみください。

第8回 12月4日(金) 太宰 まり(関西学院オルガニスト)

いずれも12:50～13:20(12:40開場予定)

ところ：関西学院中央講堂

問合せ：宗教センター

●「秘蔵聖書展」開催のお知らせ

大学図書館で所蔵している貴重な聖書の展示会を行います。(入場無料)

と き：第三部 12月7日(月)～11日(金)10:30～16:00(入室は15:30まで)

ところ：西宮上ケ原キャンパス大学図書館 1階特別閲覧室

問合せ：大学図書館 利用サービス課

●夕べの祈りatランバス～テゼの音楽とともに～

ろうそくの光を灯して、テゼの歌を歌いながら、皆でこころ静かに過ごす夕べの祈りのひとときです。どなたでもご参加ください。

第6回 1月7日(木) 18:30～20:00

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ケ原)

主 催：夕べの祈り準備会(学生有志)

協 力：関西学院宗教活動委員会

●「関西学院クリスマス at ザ・シンフォニーホール」チケット販売のお知らせ

恒例の関西学院最大のクリスマスページェントが大阪のザ・シンフォニーホールで開催されます。参加費は宗教活動委員会を通して関連団体に献金させていただきます。

開催日時：12月21日(月)17:30開場 18:30開始

参加費：2000円 当日座席指定(16:30より)

チケット販売：関西学院大学生協/チケットぴあ/ザ・シンフォニーチケットセンター/
サークルKサンクス/ファミリーマート

●CD・DVDライブラリー

吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員(学生証または身分証明書必要)であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

●使用済み切手収集にご協力ください

本学では日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)切手部の活動に協力し、使用済み切手の収集をしています。通常切手も対象としていますのでどうぞ吉岡記念館常設の回収箱にお届けください。

●盲導犬育成のためご協力をお願いします

関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。